

「21%」 ライセンの PERC モジュール変換効率は世界記録大突破

近日、世界に度々話題を起こしたライセンエネルギー株式会社（Risen Energy Co., Ltd、下記‘ライセン’という）はまた良いニュースが流れた。第三者認証機構 TUV（TUV-SUD）の認証試験によると、ライセンのイエガー（JÄGER）HP シリーズの 72 セルサイズモジュールの変換効率は 21%に達し、現存の PERC モジュール変換効率の世界記録を書き換えた。

2017 年に、同社の高出力ハーフカットセルモジュールは中国の「トップランナー一級」認定書を取得した。また、中国初の「トップランナーハーフカットモジュール基地」に 30MW の製品を提供した。同社の高出力製品は「中国トップランナー一級」基準に満たし、中国の政府及び権威ある第三者認証機構に認められたと見られる。

2018 年に、ライセンは世界初の両面原子層沈積（ALD）-AlOx 鈍化 PERC 太陽光発電電池（セル）の GW 生産規模の企業になった。セル平均変換効率は 22.2%を突破、量産レベルでは最高で 22.51%に達した。自社の知的財産権のセル技術を運用して、ライセンの PERC セルの出力減衰防止も業界のトップ水準になっている。同年、同社はイエガーHP シリーズ高出力ハーフカットモジュールを開発し、市場投入した。すでに顧客のトップ技術使用のみ案件「トップランナー基地」に次々と 60MW ぐらいの高出力イエガーHP モジュールを提供した。同製品はすでにお客さんから高度に褒められ、認められたと見られる。

今回の PERC モジュール変換効率世界記録を突破したの原因を分析すると、ライセン技術研究開発チームにより、先進的なセル鈍化技術と高出力モジュール組合技術を合わせて改良させることにより超高光利用率且つ超低い電路電気ロスの業界の次世代ハーフカットセル技術が出来たわけと見られる。

同社ライセンは「高効率 PERC セル、モジュールの量産できる技術代表トップランナーになって、PERC、または PERC+接触鈍化（改良版 TOPCON）セル/モジュールの研究開発、量産までの面においてリードする会社として、高出力高信頼性のモジュール製品で顧客に付加価値を最大限にしてまいりたい。」と宣言した。

2019年1月に中国発展改革委員会の最新発表によると、第25ロット新しい国家企業技術中心リストの中にライセンは入ったことにより同社は技術研究開発レベルが国家チームに入る資格を持って、これからも中国海外のトップ研究開発機構と交流や合作、さらにPV業界の健康的発展にも力が入れることができると見られる。

Risen Energy co.,Ltd について

Risen Energy co.,Ltd は 1986 年に設立され、今では業界を牽引する Tier1(ティア 1)の太陽光発電メーカーになりました。世界トップクラスの品質を誇る高性能太陽光発電モジュール、太陽電池、太陽光発電照明システムの提供に力を注ぎでいます。

Risen は、2010 年に深セン証券取引所に上場（証券コード：300118）を果たしました。

過去数年間の強力な成長と都合の結果、Risen Energy ではグローバル化を進み、現在ではドイツ、インド、オーストラリア、チリ、メキシコ、アメリカに事務所を構えています。高度に自動化された製造施設での生産キャパシティーは年間 8.6GW を超え、さらに増加を続けています。これにより、品質や商用基準の総合的な管理が可能になり、お客様の厳しいご要望と特注にも応えることができます。

Risen は、お客様に価値を実感していただくことを目標に、今後も統制のとれた規模拡大を続け、保証や継続的なサポートを必要に応じて確実に提供いたします。同時に、非常に競争の激しい市場で、価格競争力のあるソリューションを提供していきます。

〒104-0031

東京都中央区京橋 2-12-2 NEWS X ビル 8 階ライセンエネルギー株式会社

TEL: 03-3538-3533

FAX: 03-3538-3536

ホームページ : <http://www.risenenergy.com/jp/index.php>